

授 業 概 要

分 野	専門分野	科目名	地域・在宅看護論実習	担当講師	坂本 真由美 和田 美穂
実施年次	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>人々の生活は、本来住み慣れた地域で営まれており、その人がその人らしく過ごせる場である。住み慣れた地域・家には、その人が長年築いてきた生活があり、固有の信念や価値観がある。また、今後の人生設計をしながら望む生活に向かって生活を営んでいる。病気や障害をもちながらも、人々は住み慣れた場所で自分らしく生活できることを望んでおり、看護者には人々が主体的に生活を営んでいくことをサポートする役割がある。地域・在宅看護の対象は、年齢や疾患を問わず地域で生活をしているすべての対象者とその家族である。</p> <p>地域・在宅看護論実習では、地域で生活する対象を理解し、主体性を尊重したその人らしい生活を維持するための看護を看護師が行うケアに参加する中で理解を深める。また、地域で生活する対象が安心した生活が過ごせるためのシステムや保健・医療・福祉チームの連携の実際を知り、地域における看護職の役割について学ぶ。</p>					
時間	単元目標	内 容			
90	<p>1. 地域で生活する対象の、様々な生活状況を踏まえた療養上の課題が理解できる</p> <p>2. 地域での生活を継続するための、在宅看護が理解できる</p> <p>3. 対象の生活を支えている他職種との連携から、看護職の役割と機能が理解できる</p> <p>4. 自己の看護について振り返り、学習課題を明らかにできる</p>	<p>1) 地域で生活する対象の生活状況</p> <p>2) 地域で生活する対象者と家族の生活アセスメント、病態と症状アセスメント、家族のアセスメント</p> <p>1) 健康状態に合わせた看護とケアマネジメント</p> <p>2) 対象の意思決定支援</p> <p>3) 人間関係形成に向けた取り組み</p> <p>4) リスクアセスメントと安全な生活</p> <p>5) 災害時の対応</p> <p>1) 対象の社会資源活用状況</p> <p>2) 対象を支える地域ケアシステム</p> <p>3) 他職種との連携と看護職の役割機能</p> <p>1) 地域で生活する対象を支える看護</p> <p>2) 看護実践者としての自己の振り返りと学習課題の明確化</p>			
評価方法	出席時間、実習要項に準ずる				